



個性豊か過ぎる子どもたちとの出会いが、わたしの保育をまさに脱皮した瞬間だったな。その子どもたちとの出逢いがなかったら、保育の魅力を見出せてなかったかも。子どもたちの出逢いもあるけど、そこに共感してくれた仲間たちの存在って大きい。この間、心揺れるけどもう少し踏ん張ってみますって言ってくれた後輩がいたの。わたしも初めはそうだった！でも諦めずにやってきたから今がある。ひとりでやるには限界があって、だからこそ“わいがや”みたいな場があったらいいんじゃないかな。

(東京・渡邊正江)

保育の正しさって迷いませんか？いい保育と思っていたことも違う視点から見たらよくなかったり、自分が違うと思っている保育がどこかでは正しかったり…。アリとキリギリスの話がありますよね。アリのように生きるために生きることが人として正しいのか、キリギリスのように刹那的にこの瞬間に命を燃やすことはいけないのか。きっとどちらもあっていいのだと思います。人生観・子ども観・保育観。十人十色。みんな違ってみんないい。みなさんと語り合う中で新しい世界観を築いていきたいと思っています。自分の思いを『建前・忖度・常識なしで』自由に対話出来たら幸せです！

(神奈川・田中宏忠)



ありきたりな保育の殻を破り、
保育に夢中になれる場所

わいがや

繋がる # 語り合う # 愉しむ # 自由な対話 # 仲間と共に

今まで出会った子どもたちって、家庭の環境等で、小さいながらもものすごくしんどいものを背負っている子どもが多くって。どうやったら心から楽しんでくれるかなって日々悩みます。「養護と教育」を一体とした保育って、人としてその子のありのままを受け止めること。知識を教えるよりも何よりもほんまに大切だし。そんななかで「科学する心」を探求することは、そんな大変な子どもたちも含めて、人生を根底に支えてくれる「生きていくための力」になるんじゃないかなって感じています。そんな保育がしたくて、でも一人では出来ないし。仲間と共に歩んでいきたい。悩むことも迷うこともしんどい時もあるけど、でも保育をするなかで、何かがきっかけでパッと子どもたちの輝いた瞳をみると、あ～やっぱり保育って素晴らしいな。僕の原動力です。

(京都・湯谷道雄)



お問合せ先



保育士の心揺さぶられる実体験からこれからの保育を考えるリアルな研修会と、わいがや座談会（オンライン年6回程度）を予定しています。